

2019年7月1日

各 位

会社名 株式会社 サクラ
代表者名 代表取締役社長 笹倉敏彦
(コード番号6303、東証第二部)
問合せ先 執行役員総務部長 中野朋宏
(TEL. 06-6473-2131)

第72期定時株主総会の主な質疑応答要旨について

2019年6月27日に第72期定時株主総会を開催し、株主様から頂いたご質問・ご提言のうち主なものをお知らせいたします。

記

(質問1)

サウジアラビア向け海水淡水化プラントの代金回収通貨とリスク回避について

(回答1)

サウジアラビアリアル建てであるが、同通貨は事実上米ドルと連動しているため、米ドルと日本円の為替リスクを負っている。売掛金の一部については、為替予約済みで、残りは為替レートを見ながら随時リスク回避に努める。

(質問2)

放射空調機器の受注損失引当金計上の経緯について

(回答2)

従来国内メーカーに製作を委託していた製品について、今回初めて海外の外注先に製作を委託した結果、不具合が生じて補修が必要となり、当該補修に係る費用が発生したため、受注損失引当金を計上した。現在は、必要な対策を講じており、今後同様の問題は起きないと考えている。

(質問3)

中期経営計画の目標値について

(回答3)

売上高や利益額を中期経営計画の目標値に設定していない。事業全体を通して目標値である営業利益率5%を確実に達成できる体制を目指す。

(質問4)

海水淡水化技術の逆浸透膜法に対する蒸発法の利点と欠点について

(回答4)

逆浸透膜法は、ランニングコストは安いですが、水質にデリケートである。蒸発法は、安定的に良い水質の水が得られるがランニングコストは高い。ただし、第72期に竣工したサウジアラビア向け海水淡水化プラントのように余剰蒸気を利用することができれば、ランニングコストを引き下げることができ、需要の拡大にもつながると考えている。

以 上